

新潟県

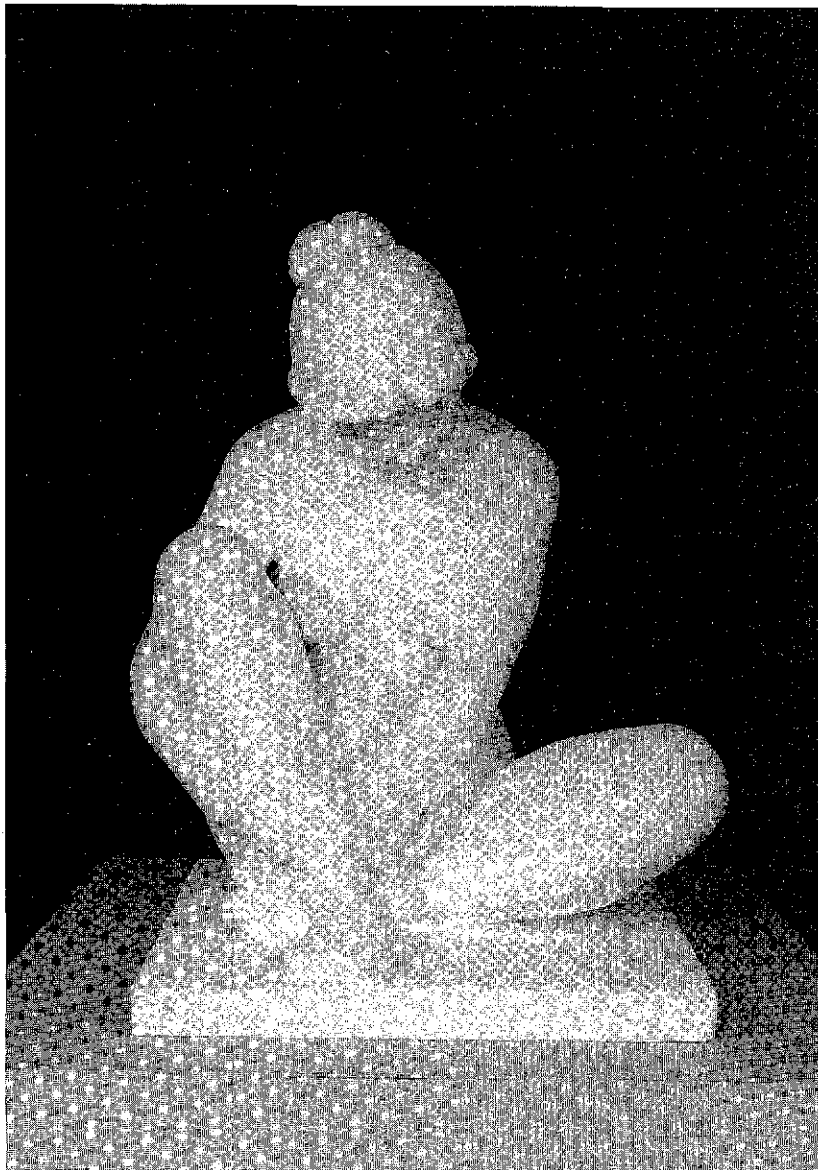
平成2年

# 公民館月報

4月  
第446号

## 公民館事業入門(1)

— 集会・行事の問題点 —



千野 茂 「フォーム」

1976年 ブロンズ

高さ81cm

新潟県美術博物館所蔵

やや前かがみに座った女性が右足を立て両手で抱えこむようにしている。感情を抑えた的確なフォルム。その自然で素直なポーズに惹かれる。

千野茂は大正13年(1913～)中蒲原郡新飯田村(現白根市)生まれ。その作風は無理な誇張やデフォルメがない。誠実で淡々とした表現は、親しみや爽かさを与えてくれる。

# 郡市公連事務局長会議開催

## 県公連主事専門部会

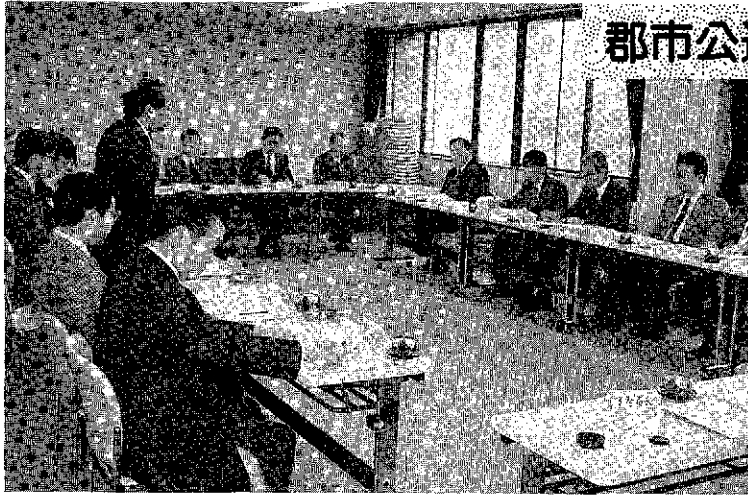
# 再結成の声上がる

## 記念講演は吉川 弘教授(新潟)

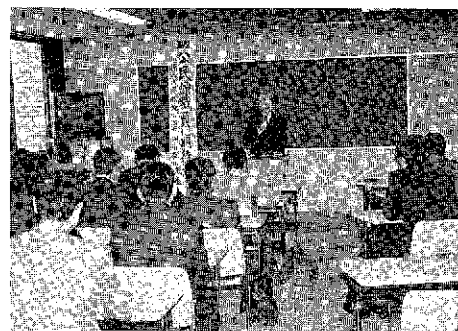
去る三月八日(木)

郡・市公連事務局長会議が、新築オープン早々の新潟市関屋地区

公民館を会場に開催された。会議は、県公連の明年度事業の構想・持ち寄り議題の討議・吉川教授(新潟大学)による、「公民館職員に期待する」と題する記念講演を受講して閉会した。



「公民館職員に期待する」と題する記念講演を受講して閉会した。二十五郡市公連のうち、欠席は六郡市で、十九郡市公連の事務局長が出席し、情報交換・問題提起等熱心な協議がなされた。



講義中の吉川先生

公民館の今日的役割は生涯学習の推進にある。その発展段階は「学習活動に参加する」という初歩的段階から、「相互学習」の段階へ、そして、最終的には、「自己教育」の段階に進む。自己教育の段階では、個人学習が支配的となり、マスメディア、とりわけニューメディアによる学習が盛んとなる。公民館はニューメディアとのかかわりが極めて大切になる。よって、公民館職員の方には、「公民館とニューメディアとのかかわり」に

## 公民館職員に期待する

### 吉川 教授 講義 要 旨

- 一、県公連組織における「主事部会」の再結成についての県公連の考え方(中魚・十日町)
- 二、郡・市公連において、新任公民館職員の研修をどのように実施しているか。(長岡市)
- 三、青年対象事業の企画について

公民館の今日的役割は生涯学習の推進にある。その発展段階は「学習活動に参加する」という初歩的段階から、「相互学習」の段階へ、そして、最終的には、「自己教育」の段階に進む。自己教育の段階では、個人学習が支配的となり、マスメディア、とりわけニューメディアによる学習が盛んとなる。公民館はニューメディアとのかかわりが極めて大切になる。よって、公民館職員の方には、「公民館とニューメディアとのかかわり」に

公民館の今日的役割は生涯学習の推進にある。その発展段階は「学習活動に参加する」という初歩的段階から、「相互学習」の段階へ、そして、最終的には、「自己教育」の段階に進む。自己教育の段階では、個人学習が支配的となり、マスメディア、とりわけニューメディアによる学習が盛んとなる。公民館はニューメディアとのかかわりが極めて大切になる。よって、公民館職員の方には、「公民館とニューメディアとのかかわり」に

吉川教授は、このたび、横浜国立大学へ栄転された。

て事例を紹介してほしい。(村上・岩船)  
四、21世紀に向けての公民館のあるべき方向(佐渡地区)協議のあらまし  
主事部会の再結成について  
問題提起者によれば、近年の公民館職員の勤続年数の短期間化傾向により、①職員の専門的知識技術の低下、②公民館事業への無気力化、③連帯意識の希薄化などの問題が多い。よって、往年の実績を想起して、主事部会を再結成し、自主性あふれる活動によって、これらの諸問題の解決と、合わせて県公連の組織活動の一層活性化を図ってはどうかというものであった。  
県公連事務局から、往年の主事部会の活動や、今日に至る経緯の説明、出席者の意見交換などがなされたあと、木下会長から次の答弁があった。  
主事会の再結成が、県公連をより一層活性化するか、過去の活動の実績の参照、現下の当会の予算面の実態、理事会の意向などを参考にして、前向きに検討する。  
(以下二、三、四の議題については割愛する)



ある。このような状況下になればなる程、住民の地域に対する愛着は強く、活性化の取り組みにも一段と弾みの

# 辛口

若者の流出、減反等による農業の先行き不透明感、加えて年と共に高齢化の進む現在で

ついでに昨今でもあの両面をもつ時代における公民館の役割とそ

## 地域づくり 人づくり

松代町長 関谷達治

い。それだけに、地域づくりの核として、又住民に生きがいと安らぎを与える公民館活動

公民館は、地域住民

なす嫌いが無きにしても非らずであった。しかし、現在の時代的背景

（県公振連 理事）

## 第41回 新潟県公民館大会開催案

1. 趣旨 1990年代は変革の時代と言われております。中でも、首都圏の一極集中からの開放は、国内のあらゆる面における中心的課題と言えましよう。産業・文化・教育などすべての分野で、地方の特性を生かし、創り出すことが求められる時代であります。

公民館は、このような時代の要請に応えるため、生涯学習推進の中心機能として、地域住民のニーズへの対応はもとより、潜在する課題の掘り起こしにも目を向けるなど、真の地域づくり、人づくりを目指した新たな対応が求められております。

ここに、21世紀に向けて、地域に根ざし、存在感あふれる公民館となるためにはいかにしたらよいかを共に考える機会にしよう。

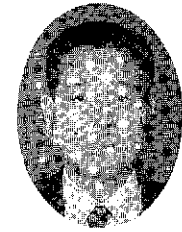
- 2. 主催 新潟県公民館連合会
- 3. 共催 新潟県公民館振興市町村長連盟  
新潟県教育委員会  
燕市、燕市教育委員会
- 4. 管理 西蒲・燕公民館連絡協議会
- 5. 後援 略
- 6. 期日 平成2年 7月 20日(金)
- 7. 会場 燕市文化会館
- 8. 主題 「変革の時代の公民館活動に求められるもの」  
～生涯学習の推進を目指して～
- 9. 参加者 略
- 10. 日程

9:00	10:00	10:40	12:30	13:30	15:00	15:30
受付	開会式	表彰式	実践発表	昼食	インテリジョン	閉会式

- 11. 内容
  - (1) 実践発表「これからの公民館に求められるもの」  
上越地区、中越地区、下越地区 各1名
  - (2) 記念講演「いまこそ公民館に期待するもの」  
講師 社団法人全国公民館連合会 会長 吉里邦夫
- 12. 参加費 1700円(昼食付き)

## 新任職員のみなさんようこそ

前十日町市公民館長 榎沢英男



新しく 公民館職員になられたみなさんをお心より歓迎

## 公民館歳時記 (1)

五、勤務体制が変則であることです。地域住民の教育方向上も大切ですが、家庭生活、健康生活にも十分留意してください。

申し上げます。みなさんに多少なりとも参考になればと思ひ、雑感を列記させていただきます。

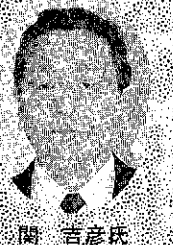
集会・行事活動は、住民全体を対象とした事業が多く、学習活動への参加やグループ活動への参加を呼びかける触発的・啓発的役割や、利用グループ・団体等の発表活動(自己実現)・相互交流(連帯感醸成)を深めるなど、地域づくりの基礎固め事業でもある。

それだけに、ややもすると、胃口は広く底の浅い事業にちかっている危険性があり、公民館にとっては、問題の多い部門である。

ここでは、啓発的な役割により多くの比重をおき、現場の問題を忌憚なく出しあつた研究討議の要旨を紹介する。

# 門(1)

点  
 課副参事 関 吉彦  
 11月14・15日にお  
 担当助言者が問題



関 吉彦氏

この部会は、県内各地から参加した5人(男3女2)。経験年数6年から1年まで、年齢では53歳から28歳とバラエティに富んでいた。

参加者のそれぞれが、普段の計画段階から実施の時点で困難を感じている問題をあらかじめレポートで提出しているため、問題意識を持って参加していた。提出した問題を整理すると、

- 一、人集めに苦労している。
- 二、マンネリ化傾向にある行事の活性化をどう進めるか。
- 三、天候に左右される野外行事の雨天対策

四、公民館は予算が少ないの4点で、どこの公民館でも苦労していることなので、演習は共通意識を持ち熱心に進められた。

演習の後半に、カルチャーセンターへの公民館の対応の問題、官公署等の土曜閉庁、民間企業の週休二日制の拡大にとむなう公民館のあり方、職員の勤務条件の問題も提起されたが、他の部会で専門に取り扱っているため、当部会では割愛したことをことわっておく。

初めて顔を合わす者同士のため、やや緊張気味であったが、自己紹介が終わり、問題点が絞り込まれる頃から、自己の経験に照らしての積極的な発言がみ

られるようになった。以下、出された問題点を研究協議題としてその解決策を話しあった。それらの集約に若干のコメントを加えて紹介する。

## 一、人集めに苦労している

年間一回の公民館まつりなどの大イベントでは、できるだけ多数の住民から参加をしてみたいし、また、普段、公民館活動に参加しない、参加できない人たちにも足を運んでもらうことに意義があると思われる。

しかし、なかなか思うように人が集まらないで悩んでいる公民館が多い。特に農村部では、その傾向が強く、「農協まつり」等に押されているという声もあった。

○いろいろな行事、集会を統合したり組み合わせたりして、子供から高齢者まで、広く各層を集めるようにする。

例えば、文化講演会の会場に地元物産展を同時開催するなど、そのよい例である。

○公民館まつりなどの場合、単に見学、鑑賞するだけのために公民館に集まった(集めた)、住民に自由に参加できる場を設けることによって参加者が増えたり、そのあとの公民館利用増を促すこともできる。

例えば、チャリテイバザー、ダンスパーティを開催したり、茶席を設けたりする。また、子供たちのためには、落書きコーナーをつくってやるなど工夫しているところもある。

○イベントには、PRが大切である。

○改善を図った事業は、名称もかえてイメージアップを図る。

最近、横文字(片仮名)を使用して成功している例もみられる。例えば、成人男子の講座で「シニア○○セミナー」、婦人講座では、「ママさん大学」などである。「ザ・つき合い学入門」などという奇抜の名前もあげられた。ここで老人などという言葉はできるだけ避けて、呼ぶなら、高齢者とかシルバーという言葉が適当であろうという話もあった。

○他の機関、団体、企業等との



部会討議のスナップ

新潟市のように市報が週に一回、全家庭へ配布されている所は広報に便利であるが、そうでない市町村では、特に広報に工夫が必要である。

例えば、アディアを凝らした公民館新聞を作り、地域の全家庭に配布するとか、町内会・部落会を活用するとか、その地域に合った方法を考えていかななくてはならない。

△表Vに示したスポーツカレンダーは、年間の事業一覧表である。家庭の茶の間などの見や

すい所に掲示して家族全員で利用できるように工夫している一例である。

○どんなこと(内容)なら参加できるのか、住民の要望を調査したり、地元の有識者(例えば、区長、推進委員等)から情報を得るようにする。

二、マンネリ化傾向にある行事の活性化を図るには

前項の「人集め」に関連していつ始まったかわからない年行事を営々と続けているところも多いと思われる。参加者が年々減少して、住民に魅力の乏しくなった行事等は、思いきって統廃合を図り、住民の必要課題を考えながら、時代に即応した行事を創造する公民館職員の見解の転換が必要である。

# 公民館事業入

## 集会・行事の問題

執筆担当 新潟県教育庁社会教育

本会主催の公民館職員研修(平成元年ける部会演習で討議された内容をもとに解決の方向を示唆したものである。

共催も考え、人と力と金を提供し合う。

これは、四の予算面とも関連して考えていかなければならない。年々盛んになっていく「ワープロ、パソコン講座」などは講師と機械を提供してもらわないと不可能なので、業者との連携・協力を図る必要がある。

その場合、社会教育法第二十三条を十分に配慮していかなければならない。

(他に、青少年育成協、農業・漁業協同組合、銀行等)

銀行からは、逆に会場を無料提供してもらい、サークル展を開くことなどが考えられる。

○ニュースポーツにも目を向ける。

ビーチバレー・グラウンドゴルフ・ソフトバレー・ワンバンドバレー等の耳新しい名称で呼ばれている軽スポーツである。

成人・高齢者、一般ファミリー等を対象にし、それぞれの体力や技術によってルールを作っていくことができるメリットがある。

○中央館と地区・分館の役割分担を明確にして、地区館、分館は、いたずらに中央館行事を小規模にしたようなものばかり考えるのではなく、伝統芸能、郷土史、郷土料理等その地域の特色を生かした行事、事業を考えていったらよい。

の場とすることが効果を発揮すると思う。

講演会のような不特定多数を対象とした単発事業であっても、公民館利用グループや団体を相談相手として企画・運営に参加協力してもらうことがマンネリズム打破に欠くことができない。

### 三、天候に左右される 行事の雨天対策は

健康ウォークに限らず、キャンプファイヤー、盆踊り大会等時間とお金をかけて準備してきた行事が、当日雨になったとき、簡単に中止していませんか。コースや方法を代えれば、なんとか実施できるように、計画段階で代案を考えておく。

例 キャンプファイヤー  
↓ キャンドルサービス  
[運動会] グランド  
↓ 屋内体育館等

○当日実施困難な場合は準備した賞品、用品、住民や役員の気持ちの盛り上がりを見せ無駄にしないため、順延にできないか。(もちろん限度はある。)

○万策が尽きたときは、中止にするが、雨が降ると困る行事は雨が少ない時期を選定することが最も重要である。

### 四、予算が足りなくて困る

○各種集会、行事を整理統合することによって予算の倍増が図れないか。

また本当に説得力のある事業なら新規の要求をしてみるのも無駄ではない。

○事業、経費の内容によっては受益者負担を考えてみる。

(欧米では、公民館の受益者負担は普通である。―田社研坂本課長の講義から―)

○民間企業、協会、関係機関等との連携、協力も考えてみる。

スポンサーをお願いするのも問題があるので、行事の活性化と関連して民間企業、協会等との日常的な連携を図っていく必要がある。

### 結び

最後に、吉川教授の指導を得ながら集会、行事を成功させるコツを次の四つにまとめたことを紹介して第一歩のレポートとする。

- 1、時期的・時間的に住民の参加しやすい時を選ぶこと。
- 2、参加する楽しさが味わえるように工夫すること。
- 3、活動の内容の有効性、参加者のためになる活動であること。
- 4、その集会、行事が住民に衆知されていること。広報に工夫が必要である。

危ないと 言ひより親が まず手本

(春の交通安全運動)

平成元年度

第6回荒川町オリンピック

スポーツ大会

荒川町公民館 荒川町体育協会

総じて、集会・行事のマンネリズムを打破する要諦は、住民を主役に据えることである。一つの集会を実施するにあたり、企画委員会や実行委員会を組織して運営に当たることである。「公民館まつり」には、趣味や教養のグループ、体育スポーツ大会には、青年や婦人の団体グループというように公民館利用団体のグループ活動





# サークル交流

## 指折り数えて

ミッチークラブ・ヨガ

もう何年たったかしら。指折り数えて……。

公民館主催のヨガ教室に、何倍もの希望者の中から入ることのできた運の良さに引きずられながら、また、先生の指導もあって、会員の願いとしての自主サークルができました。

名前を「ミッチークラブ」と名づけ、代表者や役員、会費も決まり、自主サークルとしての活動を始めました。

アツという間の五年間でし



## 練習を終えて

後問題を学習した仲間約30名で、実践学習の一つにと始めた老後福祉を考えるミニコミ紙。昭和62年7月創刊、月一回の発行で現在34号を編集している。原稿は？ 資金は？ と不安だらけの出発であったが、除々に輪が広がり現在会員60名に。ネットワークの充実に伴い配布数も増え、五百部から千部にと地域に少しづつ広がってきた。

た。20歳代から80歳まで様々な年齢を越えたヨガ友達としての話が楽しみです。

親睦のために開かれる、年数回の食事会も楽しみの一つです。役員の人たちが計画して食べに行きます。

公民館の文化祭に参加して二回目になりました。私たちの現在の姿をと、ヨガのポーズを写して掲示しました。

現在の会員28名、週一回の練習日を楽しみにしています。

(新潟市東地区公民館 利用サークル 上野節子記)

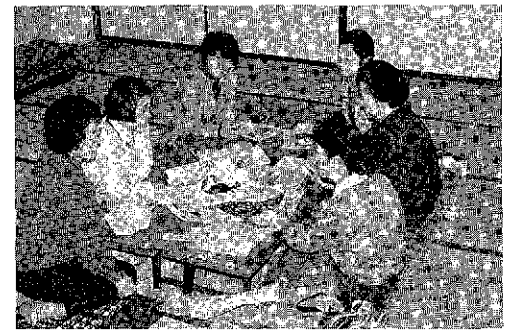
## 絆をもとめて

「ゆずり葉」に集う

十日町市公民館婦人学級OG「ゆずり葉」は婦人学級で老後問題を学習した仲間約30名で、実践学習の一つにと始めた老後福祉を考えるミニコミ紙。

昭和62年7月創刊、月一回の発行で現在34号を編集している。原稿は？ 資金は？ と不安だらけの出発であったが、除々に輪が広がり現在会員60名に。

ネットワークの充実に伴い配布数も増え、五百部から千部にと地域に少しづつ広がってきた。



編集会議

活動のねらいは広報活動を通じて、高齢者とふれあい、老人のニーズを学びながら自らの生き方を探ること。会員が手分けし、訪問配布を行っているが、「手くぼりの輪を地域全体に」が夢。月二回の編集会議と取材、製作、会員それぞれが力を出しあい楽しく活動している。

お年寄りからの投稿は増える一方で、意見や主張、自分史など発表の場となり、紙上交流も盛んだ。最近はこちらで取り上げて頂き、県内外の方からも励ましの便りを頂いている。毎月の発行を心待ちにしている。毎月のお年寄りに支えられ、これからは絆をもとめてゆっくり歩いていきたい。

(桑原光江記)

## 長岡市山通公民館主事

広瀬幸子さん (37歳)

広瀬さんは公民館主事の三年生で、高校二年生と中学三年生の二児の母でもある。

「公民館の仕事の感想は？」

「毎日、忙しくて、大変だと思う反面、やりがいのある仕事だと思います。」

山通公民館は、館長一名、主事一名のため、担当領域はすべてである。



「心がけていることは？」  
「地域づくりは、人と人との」

和が大切です。公民館を利用される人を笑顔で迎えるようにしています。」と明るく、かざらない性格の彼女は、細かな気づきもいぎとどいており、正に公民館にピッタリの人材である。

また、「事業を通して、地域の方といっしょに学び、そのことが、自分の成長にもなっている。」というように意欲も旺盛で見習う点が多い。

これからも明るく、地域のためにがんばれ！幸ちゃん。

(長岡市中央公民館・主事 田中 仁記)

## 素顔拝見

## 高柳町公民館社会教育指導員

大倉紀世美さん (24歳)

横着をきめこんだ編集子の電話によるインタビュー。受話器の奥から元気のいい声が伝わってくる。昨年十一月の研修に参加していた時のハキハキとした応対が印象的だったが、相変らずの様子と思えた。

「おかげさまで、少しは……」前職は農協の金庫係だった由で、人と接する仕事の公民館は楽しくて仕方がないという感じ。

「四月からの仕事の予定は？」

「当面六月に実施する『町民スポーツ大会』の企画です。例年地区ごとに行っているスポーツ大会ですが五年目ごと全町内をまとめて中央で大規模な大会にするんです。今年はその年に当たるんです。」



住民に喜んで参加してもらいたいイベントにするため、趣向をこらそうと、みんなで張り切っています」とは切れる声で響いてきた。

(上村記)



# 資料ご恵贈お礼

平成元年度の県内各  
公民館の重点事業の資  
料提供について依頼し  
ましたところ、早速ご  
恵贈賜り厚くお礼申し  
あげます。

ここに紹介したの  
は、四月三日の郵配ま  
で受付けたものについてであり  
ます。目下準備中のところも是  
非ご恵贈賜りますようお願いし  
ます。

- 新潟市中央公民館
- ゆりかご学級
- 日本人の宗教と思想
- まちづくり伊端セミナー
- 「私たちのめざす新潟」
- 新潟市中央区公民館
- 中地区婦人の集い
- 新潟市坂井輪地区公民館
- 国際交流振興事業
- 新潟市石山地区公民館
- 自主企画事業
- 新潟市西地区公民館
- 世代間交流体験事業
- 新潟市鳥屋野地区公民館
- 女性セミナー
- 新潟市東地区公民館
- 美しい街づくり運動
- 新潟市関屋地区公民館
- 転入家庭婦人のための

- ニューフロンティア号
- 豊栄市木崎地区公民館
- チェリリップ染め教室
- 豊栄市長浦地区公民館
- 木彫りの村
- 豊栄市早通地区公民館
- みんなで作るまちの広場
- 黒川村公民館
- ゴルフ教室
- 第20回村民体育大会
- 村松町公民館
- 寿大学
- 少年歴史講座
- 横越村公民館
- ふるさと創生「地域公民館  
振興事業」
- 岩室村公民館
- おらが村岩室ふるさと講座
- 「みんながガイドになろう」
- むらおこしふるさと講座
- 中之口村公民館
- 表具講習会
- 新春大いに夢を語ろう会
- 栄町公民館
- 情報提供活動
- 集落公民館活動の推進
- 鹿瀬町公民館
- 生涯学習相談コーナー
- 出雲崎町公民館
- 良寛講座
- 堀之内町公民館
- 郷土史講座
- ふるさとめぐり
- 湯之谷村公民館
- 総合文化祭
- 第6回年寄り子ども祭り
- 湯沢町公民館
- わんぱく教室「キャンプの  
集い」
- 町づくり人づくりシンポジ  
ウム
- 六日町公民館
- 第7回六日町ナイト・  
ウォーク
- 大和町公民館
- ジュニア国際交歓会
- 第4回早春コンサート
- 小国町公民館
- サマーフェスティバル
- 女性交流大会
- 西山町公民館
- 地域ふれあい活動
- 第11回町民文化祭
- 柿崎町公民館
- 町づくり懇談会
- 母と子の読書会
- 柿崎町下黒川公民館
- 手工教室
- 大潟町公民館
- 第1回町内対抗ソフトボー  
ル大会
- 小学生の親の勉強室
- 吉川町公民館
- 手書き公民館だよりの発行
- 中郷村公民館
- 岡沢春駒民謡子供会
- トリムマラソン大会
- 妙高村公民館
- 婦人セミナー
- 妙高村寿学級
- 板倉町公民館
- 第1回いたくら芸能まつり
- 清里村公民館
- ヤングミセスのつどい
- 清里村長寿大学
- 能生町公民館
- 地域対抗駅伝競争大会
- 荒川町公民館
- 親と子の読書教室
- 畑野町公民館
- ターゲット バードゴルフ  
大会
- 羽茂町公民館
- ファミリースポーツ教室
- 親子読書活動
- あとながき

◆変化の年代といわれる九〇年  
代の最初の年。当公民館月報も  
紙面に新鮮味を持たせるべく変  
化を加えました。

◆身近な情報をとんどんお寄せ  
ください。投稿を歓迎します。

(上村)

発行所 新潟県公民館連合会  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【電話・新潟 (025) 224-6073】

発行人 会長 木下 清 一  
編集人 事務局長 上 村 捨二郎  
【定価1部 120円 年共 1,440円】